

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3705  
16年11月15日(火)  
・Fax 095-828-1953

## 真実の敵は 米大統領選

おはようございます。

米大統領選でトランプが勝った。英語でのトランプとは「切り札」の意味だが、米を変える切り札がD・トランプとは、笑えないジョークだ。

これは長く続く恐慌の中、貧困と格差、閉塞感に怒る人々が、既成の政治にNOをつきつけた結果だ。世の中が間違っている。この思いでの変革は正しいが、問題はそのトランプ政治の方向。自国第一の国家主義である。いずれにしても世界は、イギリスのEU離脱に続き、また一つ、国家主義に舵を切った。

迎合)と呼ばれる政治手法で、既成の秩序を否定し、排外主義的に敵国をつくり、国民の不満を一時的にとりこむ政治だ。そして厄介なことに、この国家(民族)主義の火は一度ついたら、燃え尽きるまで消えない。めざすは戦争だった。これが過去の歴史だ。

トランプも米の白人層の没落は外国のせいだと攻撃し、一見わかりやすいワンフレーズ政治だ。敵をつくり、叩く政治に煽られ全米三億三千万人の七割の白人が、三割の黒人やヒスパニックに怒りをぶちまける感情的な選挙戦となった。

だが、これは事実か。トランプがいう国家の衰退、経済格差、失業は外国人が理由なのか。



このとき一番初めに憲法を承認し、成立の流れを作ったのがこの州で「First State」(一番目の州)と呼ばれる。また、この州は法人税がなく、タックスヘイブン(租税回避)の州だ。規模も全米一で、米上場企業の約半分、百万社が本社を置く。人口より会社の数が多い、現代の世界経済の矛盾を象徴する。

二〇〇八年のリーマンショック以降、世界経済は恐慌下にあり、社会の混迷で政治的には国家主義の流れにある。ポピュリズム(大衆

新自由主義 強欲資本主義と呼ばれ、彼らがリーマンショックを引き起こす。

銀行が普通には家を買えない貧しい人たちに、「転売すればもつかる」と誘い、住宅ローンを貸し出す。これが不動産バブルと重なり伸びた。だがローンは当然にも焦げつく。

リーマン証券はこの不良債権を組み込んだ証券商品(毒まんじゅう)を高利回りで売り出し、世界中を焦げつかせた大事件だ。



この根っこは新自由主義の規制緩和にある。九〇年代、ヒラリーの夫のクリントン元大統領が、銀行と証券の垣根をなくす悪法を作り、タガが緩みリーマンショックが起きた。だから民主党も恐慌と格差の加害者でもある。

〇八年以降、世界は恐慌のトンネルに入る。閉塞感で国民の怒りは強まる。一方富裕層は短時間で利益を得る金融企業に投資を集中し、利益を急激に拡大する。それを可能にしたのがタックスヘイブンとなる。

世界のGDP(国民総生産)は年間五千兆円だが、そのうちの約六割がタックスヘイブンで地下経済に流れている。

当然ながら企業は法人税を四割しか国家には納入しない。企業は大儲けだが、国の財政は赤字となり、国民福祉にはお金が回らない。財政の赤字のツケは国民が消費税増税で埋めさせられる。格差はますます広がる。

また企業も、株主(富裕層)が求める、短時間で利益を出す(株主優遇論)経営で、合理化を進め、非正規雇用を増やし、工場はより安い労働力を求めて海外に移転し、国内の労働者は工場閉鎖でさらに苦しむ。

こうしてみると、先進国の労働者の貧困は、外国の企業や外国人労働者、流入移民のせいではなく、真犯人は世界経済を支配している金融資本(富裕層)の富の独占の結果となる。これが新自由主義、強欲資本主義の実態なのだ。これを変えること以外、貧困と格差は解消せず、格差は拡大一方だ。トランプもヒラリーもこれには言及しない。富裕層は既得権益者なのだ。

選挙だ。総得票数はヒラリーが上回ったが、選挙の仕組みで彼女は負けた。この敗因にヒラリーの敵失論がある。

一例だがヒラリーの講演料は時給二千万円で、過去五年間の講演で百五十億円を手にした。形は選挙資金だが、オバマもふくめて金で買われた政治家だ。無論、共和党の既成政治家も同様だが、こうしたことが隠された選挙が米大統領選挙だった。

ファシストが民主主義の衣を着て笑顔で現れたとトランプ現象を称するが、百年前の世界恐慌の中で、失業対策として八十万人のユダヤ人を公職から追放し、その後釜にドイツ人失業者を雇用し、人気と独裁を手にし、第二次世界大戦へと突入したヒラリーの政治を、もう一度学ぶときがきている。アメリカ第一主義とは、国家主義の代名詞で、ちょうど二百年前のモンロー主義(内向き政治)の再来とも危惧される。

日本だ。極右の日本国民会議が自民党と安倍内閣に浸透し、維新と日本の心などの右翼の党が出てきた。しかし、代表たる石原元都知事はオリゾンピックと築地市場移転で金と利権にまみれていた。また田母神は選挙資金の着服で訴追された。右翼の金と権力に群がる政治では真の改革はできない。排外主義と金に負けない政治でたたかおう。

中間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。めざせ、均等待遇、なくそう差別! ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!